

# 令和4年就業構造基本調査 調査結果の概要（姫路市）

## －調査の概要－

- ・ 就業構造基本調査は、国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に、昭和31年（1956年）から昭和57年（1982年）まではおおむね3年ごと、昭和57年以降は5年ごとに実施している。
- ・ 令和4年（2022年）調査は、全国の約54万世帯（15歳以上の世帯員約108万人）を対象に令和4年10月1日現在で実施した。
- ・ なお、本調査では、就業及び不就業について、ふだんの状態によって把握している（ユージュアル方式）。このため、1週間の状態によって把握している（アクチュアル方式）統計調査と数値を比較する際は注意を要する。

## －統計表に関する利用上の注意－

- ・ 統計表の数値は、総数に分類不能又は不詳の数値を含むため、また、表章単位未満の位で四捨五入をしているため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。
- ・ 統計表中の「0」、「0.0」、「-0.0」は、集計した値が表章単位に満たないものである。
- ・ 統計表中の「-」は、該当数値のないもの又は平均値若しくは割合の算出に当たって分母が0のものである。
- ・ 本文の割合のポイント差は、四捨五入前の割合から算出した後、表章単位未満の位で四捨五入をしているため、統計表中の割合から算出した結果とは必ずしも一致しない。

## 1 15歳以上人口の就業状態

令和4年（2022年）10月1日現在、姫路市の有業者（※1）は268,100人で、無業者は189,600人となっています。

姫路市の有業率（※2）は、男性が67.7%、女性が50.2%となっています。全国の有業率は、男性69.1%、女性53.2%で、いずれも姫路市よりも高くなっています。

【表1-1 男女別有業者数及び無業者数】

(単位:人)

	総数	男	女
15歳以上人口	457,600	219,400	238,200
有業者	268,100	148,500	119,600
無業者	189,600	71,000	118,600

【表1-2 有業率】

(単位:%)

	総数	男	女
姫路市	58.6	67.7	50.2
全国	60.9	69.1	53.2
兵庫県	57.9	66.6	50.2
神戸市	56.5	64.3	49.8
尼崎市	59.9	69.8	50.8
明石市	58.1	68.7	48.3
西宮市	60.1	69.4	52.3

※1 「有業者」とは、ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日（令和4年（2022年）10月1日）以降もしていくことになっている者及び仕事は持っているが現在は休んでいる者のこと。

※2 「有業率」とは、15歳以上人口に占める有業者の割合のこと。

## 2 従業上の地位・雇用形態

姫路市では、自営業主は 17,700 人、雇用者は 245,900 人となっており、それぞれ有業者全体の 6.6%、91.7%を占めています。

会社などの役員を除く雇用者に占める割合をみると、「正規の職員・従業員」が 61.9%、「非正規の職員・従業員」が 38.1%となっています。

男女別にみると、男性では「正規の職員・従業員」が 79.5%、女性では「非正規の職員・従業員」が 58.5%となっています。

【表2 男女、従業上の地位・雇用形態別有業者数、有業者に占める割合及び会社などの役員を除く雇用者に占める割合】

(単位:人、%)

	実数			有業者に占める割合			会社などの役員を除く雇用者に占める割合		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	268,100	148,500	119,600	100.0	100.0	100.0	-	-	-
自営業主	17,700	12,400	5,200	6.6	8.4	4.3	-	-	-
うち起業者(自営業主)	13,400	8,800	4,600	5.0	5.9	3.8	-	-	-
雇人がいる業主	6,200	5,500	700	2.3	3.7	0.6	-	-	-
雇人がいない業主	11,000	6,700	4,300	4.1	4.5	3.6	-	-	-
内職者	400	200	200	0.1	0.1	0.2	-	-	-
家族従業者	4,100	700	3,400	1.5	0.5	2.8	-	-	-
雇用者	245,900	135,000	111,000	91.7	90.9	92.8	-	-	-
会社などの役員	11,500	8,900	2,600	4.3	6.0	2.2	-	-	-
うち起業者(会社などの役員)	2,500	2,000	500	0.9	1.3	0.4	-	-	-
会社などの役員を除く雇用者	234,400	126,000	108,400	87.4	84.8	90.6	100.0	100.0	100.0
正規の職員・従業員	145,200	100,200	45,000	54.2	67.5	37.6	61.9	79.5	41.5
非正規の職員・従業員	89,200	25,800	63,400	33.3	17.4	53.0	38.1	20.5	58.5
パート	47,700	4,600	43,100	17.8	3.1	36.0	20.3	3.7	39.8
アルバイト	17,300	6,600	10,700	6.5	4.4	8.9	7.4	5.2	9.9
労働者派遣事業所の派遣社員	3,500	1,500	2,000	1.3	1.0	1.7	1.5	1.2	1.8
契約社員	12,400	6,900	5,500	4.6	4.6	4.6	5.3	5.5	5.1
嘱託	4,500	3,300	1,100	1.7	2.2	0.9	1.9	2.6	1.0
その他	3,900	2,900	1,000	1.5	2.0	0.8	1.7	2.3	0.9

### 3 テレワーク実施の有無・頻度及びテレワーク実施の場所

姫路市では、1年間のうちテレワークを実施した人は38,800人で、有業者に占める割合は14.5%となっています。

年間のテレワーク実施の頻度は、「20%未満」が26,400人で最も多く、「20～40%未満」が4,900人、「80%以上」が3,400人と続いています。

テレワーク実施の場所は、「自宅」が37,500人と、テレワークを実施した人の96.6%を占めています。

産業大分類別に、有業者に占めるテレワークを実施した割合をみると、「情報通信業」が79.6%と最も高く、「電気・ガス・熱供給・水道業」が69.2%、「金融業、保険業」が37.9%と続いています。

【表3 産業大分類、テレワーク実施の有無・頻度、テレワーク実施の場所別  
有業者数及び有業者に占める実施した割合】

	総数	実施した						実施していない			有業者に占める実施した割合	
		20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上	自宅	サテライトオフィス	その他			
総数	268,100	38,800	26,400	4,900	2,400	1,700	3,400	37,500	400	900	226,600	14.5
農業、林業	3,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000	-
漁業	1,600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,600	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	19,100	1,900	1,700	-	200	-	-	1,900	-	-	17,200	9.9
製造業	59,000	11,500	8,100	1,400	700	700	400	11,500	-	-	47,000	19.5
電気・ガス・熱供給・水道業	2,600	1,800	1,400	200	300	-	-	1,800	-	-	800	69.2
情報通信業	4,900	3,900	2,300	700	-	-	1,000	3,900	-	-	1,000	79.6
運輸業、郵便業	11,800	800	800	-	-	-	-	600	200	-	10,800	6.8
卸売業、小売業	40,800	4,400	2,700	500	300	600	200	4,400	-	-	36,200	10.8
金融業、保険業	6,600	2,500	1,200	600	200	200	200	2,500	-	-	4,100	37.9
不動産業、物品賃貸業	6,900	1,200	1,100	-	-	200	-	700	-	500	5,700	17.4
学術研究、専門・技術サービス業	6,600	2,200	1,700	200	-	-	200	2,200	-	-	4,400	33.3
宿泊業、飲食サービス業	16,900	600	400	-	200	-	-	400	200	-	16,000	3.6
生活関連サービス業、娯楽業	8,800	700	700	-	-	-	-	700	-	-	7,900	8.0
教育、学習支援業	13,000	2,300	1,300	500	-	-	500	2,300	-	-	10,700	17.7
医療、福祉	35,900	700	400	-	-	-	200	700	-	-	35,200	1.9
複合サービス事業	1,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,800	-
サービス業(他に分類されないもの)	12,600	1,900	900	200	200	-	600	1,700	-	200	10,700	15.1
公務(他に分類されるものを除く)	7,600	1,100	800	300	-	-	-	1,100	-	-	6,500	14.5
分類不能の産業	8,700	1,300	800	200	300	-	-	1,100	-	100	6,100	14.9

#### 4 就業希望意識（有業者）

姫路市では、有業者のうち、継続就業希望者（※3）は217,100人で81.0%を占めています。また、追加就業希望者（※4）は19,400人、転職希望者（※5）は17,600人、就業休止希望者（※6）は9,800人となっています。

【表4 産業大分類別就業希望意識（有業者）】

(単位:人)

	総数	継続就業 希望者	追加就業 希望者	転職 希望者	就業休止 希望者
総数	268,100	217,100	19,400	17,600	9,800
農業, 林業	3,000	2,500	-	-	400
漁業	1,600	1,400	-	-	200
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	19,100	16,100	1,200	800	600
製造業	59,000	47,300	3,600	4,800	2,600
電気・ガス・熱供給・水道業	2,600	2,600	-	-	-
情報通信業	4,900	3,800	500	600	-
運輸業, 郵便業	11,800	8,500	1,000	1,400	600
卸売業, 小売業	40,800	33,600	3,000	2,200	1,400
金融業, 保険業	6,600	5,100	400	900	200
不動産業, 物品賃貸業	6,900	5,400	1,000	200	400
学術研究, 専門・技術サービス業	6,600	5,200	600	700	-
宿泊業, 飲食サービス業	16,900	12,400	1,500	1,700	800
生活関連サービス業, 娯楽業	8,800	7,900	600	300	-
教育, 学習支援業	13,000	10,400	1,200	1,000	400
医療, 福祉	35,900	28,900	3,200	1,900	1,400
複合サービス事業	1,800	1,600	-	200	-
サービス業(他に分類されないもの)	12,600	11,200	700	400	200
公務(他に分類されるものを除く)	7,600	7,000	600	-	-
分類不能の産業	8,700	6,100	300	500	500

※3 「継続就業希望者」とは、現在就いている仕事を今後も続けていきたいと思っている者のうち、「追加就業希望者」に該当しない者のこと。

※4 「追加就業希望者」とは、現在就いている仕事を続けながら、他の仕事もしたいと思っている者のこと。

※5 「転職希望者」とは、現在就いている仕事を辞めて、他の仕事に変わりたいと思っている者のこと。

※6 「就業休止希望者」とは、現在就いている仕事を辞めようと思っており、もう働く意思のない者のこと。

## 5 就業希望意識（無業者のうち就業希望者）

姫路市では、無業者のうち、就業希望者（※7）は29,800人となっています。

これらの人について、希望する仕事の形態をみると、「パート・アルバイト」が14,500人で最も多く、次いで「正規の職員・従業員」が6,800人となっています。

年齢別にみると、15～24歳では「正規の職員・従業員」が最も多く、25歳以上では「パート・アルバイト」が最も多くなっています。

【表5 年齢、就業希望意識別就業希望者数（無業者のうち就業希望者）】

(単位:人)

	総数	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
総数	29,800	3,500	5,700	4,700	4,800	4,300	6,800
正規の職員・従業員	6,800	2,600	1,200	1,100	700	1,000	200
パート・アルバイト	14,500	700	2,700	2,200	3,000	2,100	3,700
労働者派遣事業所の派遣社員	400	-	-	200	-	-	200
契約社員	800	-	-	-	300	200	400
自分で事業を起こしたい	1,800	-	700	300	500	400	-
家業を継ぎたい	-	-	-	-	-	-	-
内職	800	200	400	-	-	-	200
その他	4,200	-	700	900	300	600	1,700

※7 「就業希望者」とは、何か収入になる仕事をしたい思っている者のこと。

## 6 非就業希望理由（非就業希望者）

姫路市では、無業者のうち、非就業希望者（※8）は148,900人となっています。

非就業希望理由（※9）としては、「高齢のため」が80,000人で最も多く、「通学のため」が19,200人、「特に理由はない」が16,600人と続いています。

【表6 非就業希望理由別非就業希望者数】

(単位:人)

	非就業希望者
総数	148,900
出産・育児のため	2,700
介護・看護のため	4,500
家事(出産・育児・介護・看護以外)のため	2,500
通学のため	19,200
病気・けがのため	10,300
高齢のため	80,000
学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている	400
ボランティア活動に従事している	2,000
仕事をする自信がない	3,000
その他	5,900
特に理由はない	16,600

※8 「非就業希望者」とは、仕事をする意思のない者のこと。

※9 「非就業希望理由」とは、収入になる仕事をしたいと思っていない理由のこと。

## 7 育児をしている者及び介護をしている者の就業状態

姫路市では、育児をしている人に占める有業者の割合は 84.9%、介護をしている人に占める有業者の割合は 49.8%となっています。

全国では、育児をしている人に占める有業者の割合は 85.2%、介護をしている人に占める有業者の割合は 58.0%で、姫路市と比較すると、それぞれ 0.3 ポイント、8.2 ポイント高くなっています。

【表 7-1 育児・介護の状況別有業者数、無業者数及び有業者の割合（姫路市）】

(単位:人、%)

	総数	有業者	無業者	有業者の割合
総数	457,600	268,100	189,600	58.6
育児をしている	44,900	38,100	6,900	84.9
介護をしている	30,900	15,400	15,500	49.8

【表 7-2 育児・介護の状況別有業者数、無業者数及び有業者の割合（全国）】

(単位:万人、%)

	総数	有業者	無業者	有業者の割合
総数	11,020	6,706	4,313	60.9
育児をしている	965	821	143	85.2
介護をしている	629	365	264	58.0